



令和 7 年（2025 年）1 月 27 日 公表  
令和 6 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

### サワラ（日本海・東シナ海系群）

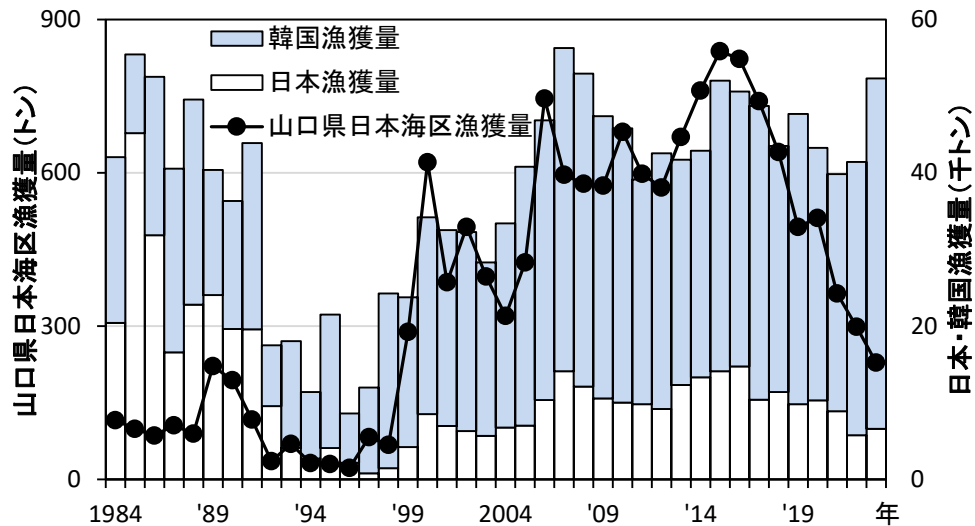


図 山口県日本海区サワラ漁獲量（漁業・養殖業生産統計年報）及び東シナ海系群サワラ漁獲量（日本＋韓国）（(国研)水産研究・教育機構 資源評価報告書)の推移

【漁業】サワラは主に定置網と曳縄釣りで漁獲され、秋から冬には主に小型のサゴシ（当歳魚）、冬から春には中・大型のサワラ（1 歳魚以上）が漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1997 年以降増加傾向に転じ、2006～2014 年には 571～761 トンと高水準で推移した。しかし、2015 年に 838 トンと過去最高を記録して以降は減少し、2023 年は 229 トンとなった。

本系群の漁獲量は、1980 年代は 1.7～4.5 万トンで推移したが、1990 年代に急激に減少し、1997 年には 822 トンまで落ち込んだ。しかし、その後は増加傾向に転じ、2005 年以降は 1 万トン前後で推移している。2023 年の漁獲量は 6.6 千トンであった。

【資源状態】大中型まき網および大型定置網の標準化 CPUE を相乗平均した資源量指標値は、1990 年代から 2000 年代後半まで上昇し、その後は横ばい傾向にある。2023 年の資源状態は目標水準の 80.0%を下回り、63.2%の資源水準であると評価された。

|        | 2023 年 | 目標水準  | 限界水準  |
|--------|--------|-------|-------|
| 資源水準   | 63.2%  | 80.0% | 56.0% |
| 資源量指標値 | 1.05   | 1.26  | 0.97  |

\*暫定値